

地域と農業を結ぶ、ふれあいと笑の発信源

Ag'resh

2022. VOLUME.144

3



特集 組織代表者との懇談会

～要望集約しJA事業へ反映
明るい組織活動へ～

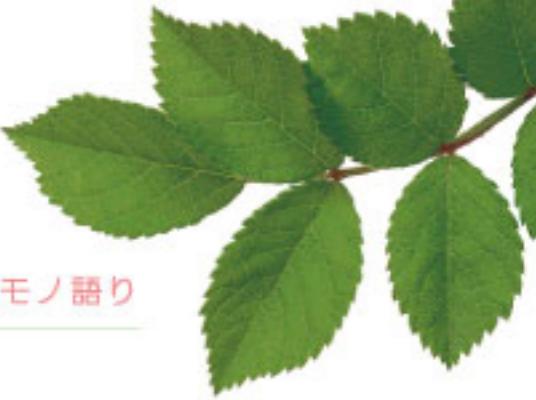


JAは地域社会の
課題解決とともに、
SDGsの実現へ
貢献していきます。

「よい食プロジェクト」

腕じまん

地域にまんのモノ語り



「かだあ～れ」の職人が教える栄養満点レシピ ～おウチご飯に彩りを～

今回はファーマーズ・マーケット「かだあ～れ」の職人さんにおウチご飯を楽しむ一品を教えてもらいました。見た目の楽しさだけではなく、色々な食材が入っているので栄養も満点！合格祝いや入学祝いなどのおめでたい席にも活躍できそうです。

ギョウザの皮で作る

鮭とホウレンソウの“グラタン”

材料(6人分)

鮭	120g	バター	1かけ
ホウレンソウ	80g	とろけるチーズ・お好みの量	
小麦粉	80g	ブロッコリー	お好みの量
牛乳	100ml	ミニトマト	お好みの量
ぎょうざの皮	6枚	塩コショウ	少々

作り方

- ① 鮭とホウレンソウを一口サイズに切ってバターで炒める。
- ② ①のホウレンソウと牛乳・小麦粉・塩コショウをミキサーに入れてよく混ぜる。
(※底存のホワイトソースでも代用可)
- ③ ぎょうざの皮で器を作り、②と焼いた鮭、ブロッコリー、ミニトマト、とろけるチーズを入れる。
- ④ ③を180℃のオーブンで8分程度焼いたら完成。
(※オーブントースターでも可)



Point

ぎょうざの皮がきつね色
になった時が完成の目安!
皮のパリッとした
食感が楽しめます!

「かだあ～れ」の食育ソムリエが教える豆知識

鮭

- 筋肉や臓器を構成するタンパク質
- 血液の性状を健康に保ち血栓をできにくくするEPA

ホウレンソウ

- 皮膚や粘膜、髪の健康や美白効果に期待BカロテンとビタミンA
- 黄血予防の鉄分、カリウムも!

EPAが血をサラサラにして、カリウムが過剰な塩分を体外に排出するのを助けるので血圧上昇を抑える働きが期待できます!

公式Facebook
JA十和田おいらせ

■令和4年3月10日発行 ■発行／JA十和田おいらせ農業協同組合 〒034-0081 青森県十和田市西十三番町4-28 TEL.0176-23-0311 FAX.0176-24-1829
■編集／JA十和田おいらせ 広報編集委員会 ■公式ホームページ <https://www.jatowada-o.or.jp> ■Email soumu@jatowada-o.or.jp ■印刷／アート印刷

表紙紹介

● シリーズ 日本の農業に生きる後継者 Vol.111
けいしょうびと



三本木事業所管内

はたけやま たかし りゅうが
畠山 聖さん(37) 長男 龍河さん(15)
えみ さき
恵美さん(37) 長女 紗季さん(13)
たいが
次男 大河さん(10)



出来ることを一つずつ

自らが社長となって活動できる農業に夢を持ち、2年前に脱サラし就農した。1年目はネギ栽培からスタート。聖さんが機械、恵美さんが薬剤散布の勉強をする。講習会や目ぞろえ会には2人で積極的に参加し、やりやすい農作業を探り、良品質生産につながるよう力を入れてきた。「100%を求めればストレスになるだけ。目の前の出来ることを一つずつクリアして、ステップアップしていきたい」と話す。

みんなで共有

ネギの播種や調整、恵美さんの実家の苗代など子供たちは進んで農作業を手伝う。仲良く作業する秘訣は「みんなで共有すること」。小屋でのバーベキュー、スキー、ゲームなど家族の時間をもち、たくさんの会話をすることで絆を深めている。



家族一体で農業経営確立へ

「よし、みんなで運ぶぞー！」
聖さんの掛け声で、子どもたちがネギのタネを植え付けた専用のプラグトレーをビニールハウスに運び出す。

ネギの播種は2月中旬と、3月中旬に行う。「昨年は価格が上がらず残念だったが、品質は上出来だった。経験を踏まえて次はもっと良いネギに仕上げたい」と作業する手に力が入る。

良品質、安定供給で農業経営の確立へ

農業はまだ走り出したばかり。今後の目標について「まずは良品質のものを安定供給できるようになること。徐々に規模を拡大して農業経営を確立させたい」と意気込む。働く両親の背中を見る子ども達は「厳しいこともあると思うけど、めげずに頑張っていて尊敬する。続けられるようにこれからもお手伝いがんばりたい」とエールを送る。



プロフィール…はたけやま たかし
西金崎地区

組合員=本人

家族構成:本人、妻、子3人

農業経営:ネギ40ア-, ニンニク30ア-

告知版

総務部

営業時間変更のお知らせ

4/1(金)から営業時間が下記の通り変更になります。

営業時間:8:00~17:00

期間:令和4年10月31日まで

※詳細については、外務チラシでお知らせします。

3/31(木)は決算棚卸のため、本支店の購買窓口を休業致します。

組合員、利用者の方々にはご不便をおかけしますが、資材等は事前の購入をお願いいたします。

金融部

令和3年度「かだあ～れ」応援 「かだあ～れ」の お買い物ポイントが当たる 定期貯金キャンペーン当選番号が決定！

実施期間:令和3年7月1日～令和3年8月31日

JA本店で2月3日、畠山一男組合長ら常勤理事4人が抽選会を行い、当選番号が決定しました。当選者には、当選のご案内通知を送付いたします。



1等賞
1万円分のポイント
15本(各組共通下4桁)

1328	1576	1700
2049	2743	3666
4179	4474	6254
7769	8025	8527
8615	9262	9538

2等賞
5千円分のポイント
30本(各組共通下3桁)

506	740	999
-----	-----	-----

3等賞
3千円分のポイント
60本(各組共通下3桁)

155	228	275
471	833	986

おめでとうございます！

もくじ contents
あぐれっしゅ 3
vol.144 (弥生・やよい)
特集 4~6p
組織代表者との懇談会
～要望集約しJA事業へ反映
明るい組織活動へ～

継承人 3p

あぐれっしゅ情報① 7p
2022年度 産地拡大対策事業の実施

NEWS&TOPIC

地域の話題 8~10p

あぐれっしゅ情報② 11p
春の交通安全

かだあ～れ 情報 12p

ふれあい広場
頭の体操 パズル? 13p

information 14~15p

腕じまん
地域じまんのモノ語り 16p

「かだあ～れ」の職人が教える
栄養満点レシピ

JAの概況 令和4年3月1日現在
正組合員数/6,359人
准組合員数/5,333人
役員数/26人
職員数(准職・嘱託含)/277人
貯金高/838億7,024万円
貸出高/174億4,125万円

4月ローン相談会

(本支店のご案内)

開催の日時・場所

むつ支店 9:00~12:00	9日(土) 16日(土) 23日(土)
本店・大深内・藤坂・ももいし 下田・上北・十和田湖・七戸 横浜町の各支店 9:00~15:00	
	16日(土)

農業機械・農業に関わる
設備資金等の相談も承ります。

特集 // 組織代表者との懇談会

要望集約しJA事業へ反映 明るい組織活動へ

JA本店で2月16日、畠山一男組合長ら常勤理事、JA職員と生産・協力組織代表者との懇談会を開きました。代表者の意見や要望を聞き、2022年度のJA事業や組織活動に反映させるものです。

あいさつで畠山組合長は「受け取った要望は出来ることから速やかに検討し、事業に反映させて農業所得の維持・向上につなげていく」と話しました。

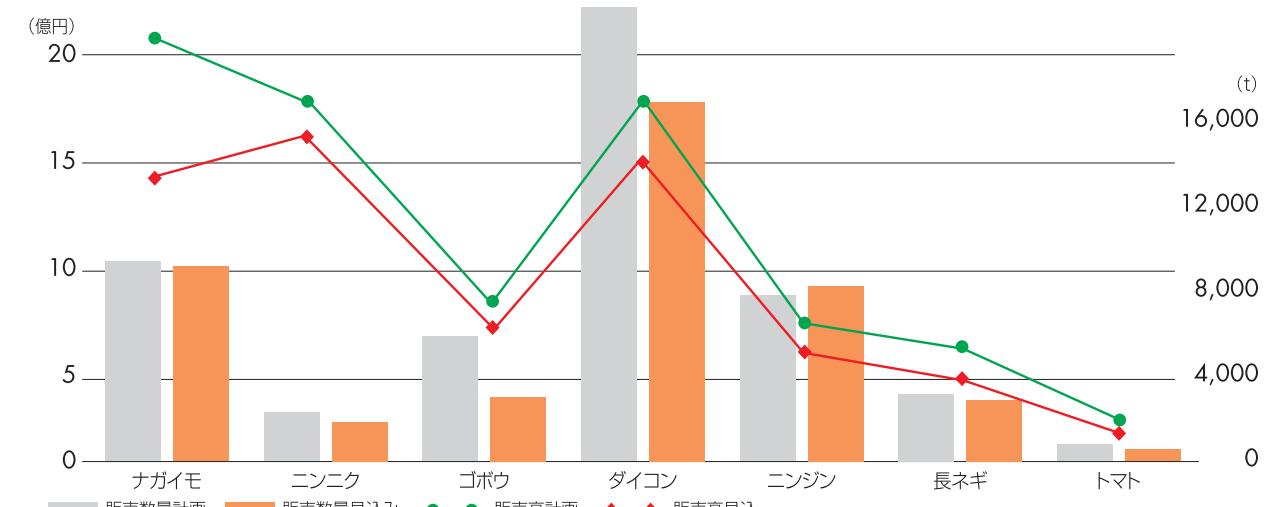
今回の特集では、各組合員組織の取り組みや要望、当日の質疑応答を紹介します。

2021年度 農産物の年間販売見通し (1月末現在 3月末見込み)

野菜販売高	計画対比 79.5%/前年対比 83.2%	
	販売高計画	販売高見込み
	8,110,585	6,449,145
(千円)		

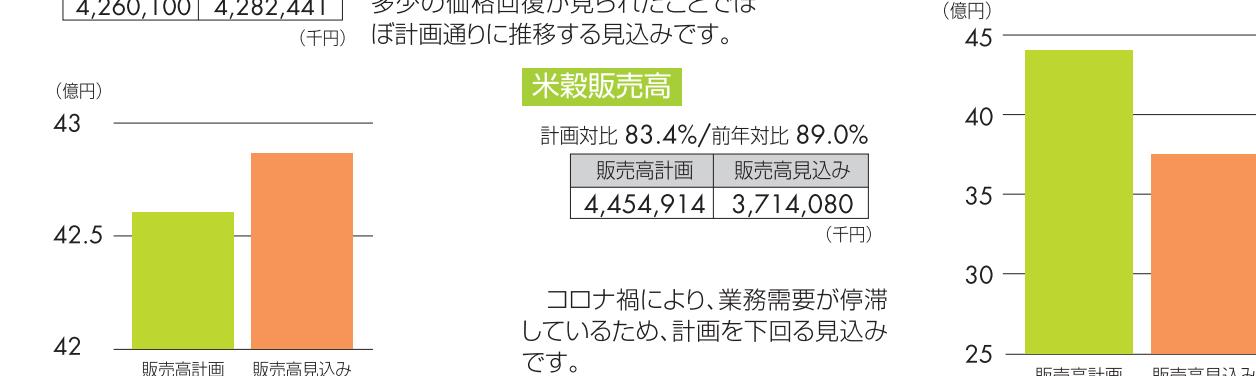
野菜の販売数量は8月の豪雨被害等により、計画比91%、販売高は取扱数量の減少と業務・加工需要の低迷により、全般に一年を通して安値で推移したため、計画を16億円下回る見込みです。

主な野菜	販売高計画	販売高見込み	販売数量計画	販売数量見込み
ナガイモ	2,030,458	1,441,082	7,432	7,336
ニンニク	1,711,935	1,541,124	1,491	900
コボウ	690,140	534,654	4,575	2,709
ダイコン	1,259,310	1,005,189	15,533	12,835
ニンジン	751,380	584,801	6,724	6,904
長ネギ	631,652	498,981	2,284	2,145
トマト	188,115	163,902	640	569



畜産販売高	計画対比 100.5%/前年対比 97.3%	
	販売高計画	販売高見込み
	4,260,100	4,282,441
(千円)		

国内の外食需要の落ち込みなどで、肉牛の価格は下落していますが、多少の価格回復が見られたことほぼ計画通りに推移する見込みです。



コロナ禍により、業務需要が停滞しているため、計画を下回る見込みです。

A2 関係が希薄となつている地区にも出向いて、次世代を担う農業者との関係構築に努めたいと思います。

Q2 常勤役員が地区の懇談会などに参加して、直接生産者の声を聞くことで、出荷量を確保することができます。JAで集荷することはできません。

- 主力品目のナガイモ・ニンニク・ゴボウなどの生産量拡大と系統出荷率の向上に努める
- 土壤診断の活用とミネラル野菜栽培の普及拡大を図る
- 担い手確保対策としての取り組み強化を図る

野菜振興会
(会員数1,587名)



小田 正喜 会長

A1 常勤役員が地区の懇談会などに参加して、直接生産者の声を聞くことで、出荷量を確保することができます。JAで集荷することはできません。

Q1 令和5年度から新品種「はれわた」の作付けが可能となる。指導の強化や販売先の確保など道筋を立ててほしい。

- 令和3年産「メ政策」を有効活用する
- 稻作生産の低コスト化を図る
- GAP(農業生産工程管理)へ取り組む
- 中央カントリーの建設が行われていますが、現段階の進捗状況や今後の説明会の有無などを教えてください。

稻作振興会
(会員数1,199名)



小川 広徳 会長

A1 工サに限らず、生産資材などが全体的に高騰しています。直接経営に関わることなので、全農などと協力しながら、早めの懇談会を開催と対策を検討します。

Q1 現在、當農計画書の提出をしてもらっていますので、各支店の施設とまり次第説明会を開催する予定です。

- 畜産環境、衛生問題に取り組む
- 伝染病対策に取り組む
- 生産コストの低減に取り組む
- 優良雌牛の保留(ゲノム解析)に取り組む
- 繁殖母牛の生産に取り組む
- 分娩間隔の短縮に取り組む
- 繁殖農家及び飼養頭数の減少対策に取り組む

畜産振興会
(会員数266名)



斗沢 清 会長



- リンゴ栽培技術の向上を目指し、高品質・安定生産で生産者所得の向上に取り組む
- ブルーベリー栽培技術の向上と収量及び系統出荷率増加に取り組む
- 職員の果樹に対する知識が浅いので、もっと勉強し講習会や検討会を開催してほしい。

果樹振興会
(会員数50名)



大竹 光雄 会長



あぐれっしゅ情報①

2022年度 産地拡大対策事業の実施 労働力不足の解消と生産性の向上、経営安定へ

ニンニク・ネギ作業機械の導入、ドローン防除機の購入、種苗費等への助成など

申し込み農家へ総額2,300万円助成

1. 労働力対策(作業機械購入助成)【継続4年目】

- ①対象品目 … ニンニク、ネギ
- ②対象作業機械 … ニンニク植付機及びニンニク収穫機(1条掘りコンバイン型、又は4条引き抜き方式)
ネギ収穫機(1条掘り)
※機械の特性上、受注から納品まで半年以上要することから、9月下旬の理事会で承認済み
- ③助成上限金額 … 1戸当たり1台 購入価格の4/10または1,000,000円のいずれか低い額
- ④事業規模 … 10台(ニンニク機械・ネギ収穫機合わせて)

2. 労働力対策(スマート農業助成)【継続3年目】

- ①対象品目 … 水稻・畑作物・野菜
- ②対象作業機械 … ドローン防除機
- ③助成上限金額 … 1戸当たり1台 300,000円(消費税別)
- ④事業規模 … 5台/年(令和4年度)

3. 種苗費等助成

- ①ナガイモ優良種苗(ムカゴ)助成【継続】
購入したムカゴ代金の一部として1kg当たり1,000円(消費税別)を助成
※但し、標準出荷数量(2t/10a)の8割以上の出荷がある生産者を対象とする
- ②地区指定品目助成【再助成】
農産登録面積が過去3カ年の最大面積より増加した面積に対して基準種苗費の一部を助成

4. 健康な土づくり助成(土壤診断料の一部助成)【継続】

- 令和4年度に当JAで実施した土壤診断点数に対し、
診断料金の一部として1点あたり750円(消費税別)の助成
- ①対象期間 … 令和4年4月1日～令和5年1月31日受付分
 - ②その他 … 助成対象者は当JA組合員又はその家族とする

事業費の総額 23,000,000 円(消費税別)

お問い合わせ・お申し込み等は各支店・営農センター・事業所の営農担当まで



A1 改善し令和4年度からすすめて
いきます。

Q1 花の集荷が週3回から2回に減
りました。花の咲き具合を調整す
るのは難しいので元に戻してほし
いです。

○花きの産地づくりに向けた振興策
に取り組む

重点取り組み

花き振興会
(会員数16名)



明戸 輝子 副会長



要望
肥料価格の高騰に対して、JAグループでの価格抑制に向けた取り組みをしてほしい。

○組合員・地域住民へ「農業の大切さ」を広くアピールする広報事業に取り組む

○青年部本部の活動活性化に向けた事業に取り組む

○青森県農協青年部連絡協議会との連携した事業活動に取り組む

○青年部(会員数220名)



土嶺 要 部長

A2 「JA産直の会」を担当しているJAでは十和田市にある支援団体「十和田こども食堂実行委員会」に協賛し、活動拠点とするバスに支援団体として当JAの応援ステッカーが貼られています。現在「かだあ〜れ」を中心とした物の提供などをしていますので、今後は声掛けしながら一緒に活動していきたいと思います。

Q2 中央会などと相談して進めていく必要があります。

A1 子ども食堂への取り組みを検討しているので、支援をしてほしいです。

○女性部組織活性化に取り組む
○女性正組合員及び総代の増加に取り組む

○女性部(会員数453名)



小川 真利子 部長

要望
45歳までという加入制限を撤廃してほしい。

○会員相互の連帯強化及び管理技術や経営理論等の習得に取り組む
○規模拡大や自立経営へ向けて検討をする

畜産後継者の会
(会員数20名)

白山 雄治郎 会長

